

鴨 台 社 事 通 信

事務局：〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1 社会福祉学専攻内
TEL 03-3918-7311 内線2431/FAX 03-5394-3037 (代表)

第27回大正大学社会福祉学会のご案内

会員各位におかれましては、ますますご健勝でご活躍のこととご拝察申し上げます。
本年は、大正大学大学院で教鞭をとられました吉澤 英子教授・小松 源助教授・平山 宗宏教授が定年でご勇退になられます。その「最終講義」を主題にいたしました第27回大会を開催いたします。
また、三先生への謝恩の意をもって懇親会も行いますので、多くの卒業生のご参集を切にお願いいたします。
本学会で卒業生・教員・在学生同志が大正大学の学舎で得たご縁を、より深められますようご案内申し上げます。

記

大会テーマ「創ること・護ること・探ること：福祉社会を拓く途」

I. 日 時 : 2004年2月15日(日) 午後1時00分 受付

II. 会 場 : 大正大学 巣鴨校舎 礼拝堂

III. プログラム

| | | |
|----------|---|---------|
| 1. 総 会 | 午後1時15分～1時45分 | |
| 2. 最終講義 | 午後2時～5時 | |
| テ ー マ | 「ストレングズ視点をめぐる研究の回顧と展望 ーソーシャルワーク・パラダイムの転換を求めてー」 | 小松 源助教授 |
| | 「保健福祉に想いを寄せて」 | 平山 宗宏教授 |
| | 「石井十次の児童養護に学ぶ ー生活台を創るー」 | 吉澤 英子教授 |
| 3. 記念品贈呈 | 午後5時～5時20分 | |

4. 懇親会 午後5時30分～ (本学カフェテリアを予定)

IV. 参 加 費 大会参加費 5,000円 (記念品代込) 懇親会費 2,000円
記念品代 3,500円

*欠席の方には、ご勇退される先生方への記念品代3,500円を振込みいただきますと、記念出版『創ること・護ること・探ること：福祉社会を拓く途ー小松源助・吉澤英子・平山宗宏全仕事』へるす出版刊の著作を送らせていただきます。当日参加の方は、受付にてお渡しいたします。

なお、同封の返信用葉書にて、大会への参加・不参加などについて1月16日(金)までにお知らせください。
また、今後のご連絡を確かなものにするためにも、住所・勤め先等の変更や近況をお知らせいただければ幸いです。

ご不明な点は、下記の事務連絡先までお問い合わせください。

事務連絡先： 〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1 社会福祉学専攻内
TEL 03-3918-7311 (代表) 内線2431/FAX 03-5394-3037
担当教員 落合・高橋・浅沼 担当副手 安孫子・木村

教え子たちへ

吉澤 英子

～何でもないことに気づきばりを～

“言葉は、人生を方向付ける力をもっている” “言葉は、生活をつくり、世界をつくり、文化そのものである”
何げなくコミュニケーションの手段として使っている言葉の背後には、その人自身をあらわし、心の動きをもあらわしている。反面では、相手（人）を傷つけていることもある。

現時点では、非常に言葉が乱れているといわれる、いわば人の内面、心の乱れを表わしていることを心してほしい。人とかがわりの深い福祉を促進するには、先ず言葉を大切に！！言葉使いをていねいに！！

小松 源助

退任に当たって、私が胸中に秘めてきていた言葉を卒業生諸君に贈ることにします。それは、私が1950年3月に社会福祉の世界に旅たとうとする際に、胸中に浮かび、私を励ましてくれ、またその後、紆余曲折を経ながら50年以上にわたる道程において私を支える陰の力になってくれているものです。在任中、教師として何ら十分な役割を果たすことができませんでした。卒業生諸君になんらかの示唆になればという願いを込めて提示します。

— この世のなかで凡て偉大なものが偉大となったのは「にも拘らず」だったのである。苦悩、貧困、虚弱、孤独、その他無数の障害にも拘らず実現されたものである。— トーマス・マン

平山 宗宏

私自身は医学を学び、途中から福祉の勉強も始めた立場ですが、最近では福祉と保健の境目がなくなったことを痛感しています。福祉も保健もキーワードは健康であり、思いやりの心でしょう。親子や家族対象なら育児支援が加わります。健康は自分自身のためにも生活の基本です。福祉の現場で働く場合には保健の知識が必須です。われわれは保健福祉学をヒューマンサービスの基盤と考えていますが、福祉を学ぶ方々はぜひ保健の知識も身につけておいて下さい。

大正大学社会福祉学会編

『創ること・護ること・探ること：福祉社会を拓く途—小松源助・吉澤英子・平山宗宏全仕事』

本書を刊行する主旨は、大正大学大学院人間学研究科博士（後期）課程完成とともに三教授退任を記念し、三先生が日本の戦後の福祉・保健分野に残された不朽の業績を顕彰するために、本専攻が培ってきた研究・教育の成果をまとめた『鴨台社会福祉学論集』の記念号として刊行するものです。

本書の構成と内容

- 第1部 創る エンパワーメントへの道：小松源助教授の仕事
「仕事史」概説、仕事を読む（代表論文解題）、論文および著作抄録、業績一覧等
- 第2部 護る 子供を育む福祉をつくる：吉澤英子教授の仕事
「仕事史」概説、仕事を読む（代表論文解題）、論文および著作抄録、業績一覧等
- 第3部 探る 疫学・保健・子育て支援：平山宗宏教授の仕事
「仕事史」概説、仕事を読む（代表論文解題）、論文および著作抄録、業績一覧等
- 第4部 新しい福祉への途 課程博士論文
- 第5部 福祉・保健の到達点：次世代研究者に残したいこと、期待すること —三先生による座談会—

装丁と版型 ハードカバーA5版 300頁 出版社 へるす出版 頒布価格 3,500円 2004年2月15日刊

なお、三先生には学会当日に記念として謹呈させていただくとともに、本書に込められた後学の徒への羅針盤となる内容を噛みしめるためにも、会員諸兄姉におかれましては、ご購入の上、熟読されますようお願い申し上げます。